

第 42 回京都府高等学校総合文化祭

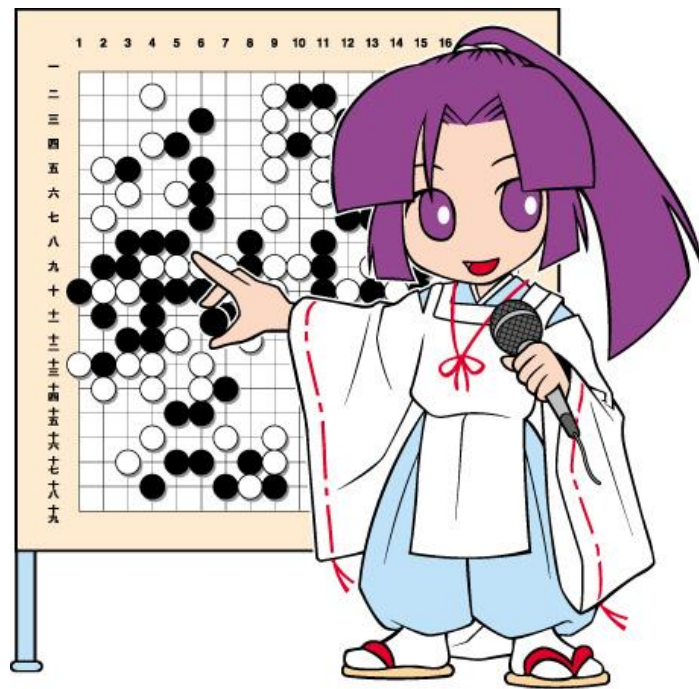
囲碁部門プログラム

団体戦：令和 7 年 10 月 25 日（土）

洛南高等学校

個人戦：令和 7 年 11 月 2 日（日）

洛星高等学校



〈主催〉 京都府高等学校文化連盟

あいさつ

囲碁専門部会長 小田 恵

(洛星高等学校長)

「第42回 京都府高等学校総合文化祭 囲碁専門部大会」の開催にあたり、京都府下からお集まりいただいた選手の皆さんを、心より歓迎いたします。

また、日頃から熱心にご指導いただいております顧問の先生方、そして本大会の準備・運営にご尽力くださった全ての関係者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

二千年以上もの歴史を持つ囲碁は、「知的な格闘技」とも評される奥深い文化です。静かに石を打つその一瞬一瞬には、深い思考力、大局観、そして決断力が求められます。

そして何より、囲碁は「礼に始まり、礼に終わる」という、非常に礼を重んじる競技です。この精神は、盤上での勝敗を超えた、日本の伝統文化に深く根ざした武道にも通じる精神性を体現しています。皆さんには、この礼節を常に大切にしてほしいと願っています。

さて、この高等学校総合文化祭は、皆さんが日頃の研鑽の成果を存分に発揮する大きな舞台です。もちろん、勝敗にこだわる姿勢は大切です。しかし、それ以上に、対局を通じて得られる貴重な経験、盤を挟んで向き合う相手への敬意、そして共に切磋琢磨する仲間との絆こそが、皆さんの一生の宝物となるでしょう。

どうか、対局相手への敬意を忘れず、一局一局を大切に打ち抜いてください。そして、今日、この場で碁を打てることに感謝の気持ちを持ち、最後まで正々堂々と全力を尽くされることを期待しています。

競技について

個人戦

日 時：令和 7 年 11 月 2 日（日）9：00 受付

会 場：洛星高等学校 （〒603-8342 京都府京都市北区小松原南町 33）

競技種目：(1) 総互先戦男子の部・女子の部（京都府代表決定戦）

(2) 段級位認定戦

(3) 初心者教室

競技方法：(1) 総互先戦では、組み合わせは参加者による「くじ」で決定します。

すべての対局を先番 6 目半コミ出しで行います。

手合時計を使用し、持時間は各 35 分、使い切ると秒読み 10 秒とします。

スイス式 SOSOS 方式で順位を決定します。ただし、代表に関わる同順位が発生した場合、九路盤で決定戦を行います。（持ち時間なし、秒読み 10 秒）

(2) 段級位認定戦では、1 段級差 1 子の手合割（置碁）戦、置石は 9 子までとし、それをこえと 1 段級差につき、13 目の逆コミとします。

(3) 初心者教室では、9 路盤 / 13 路盤で囲碁の打ち方、ルールを丁寧に教えます。

表 彰：総互先戦については、男女各 3 位まで表彰。認定戦は、好成績の人を表彰。

審 判 長：坂口 隆三 九段

そ の 他：本大会は 12 月 20 日(土)に神戸市で行われる第 14 回近畿高校囲碁選手権大会(個人戦)の京都府代表決定戦を兼ねます。

団体戦

日 時：令和 7 年 10 月 25 日（土）13：30 受付

会 場：洛南高等学校 （〒601-8478 京都府京都市南区壬生通八条下る東寺町 559）

競技種目：(1) 同一校に在籍する男子生徒 3 名（主将、副将、三将）による団体戦

(2) 同一校に在籍する女子生徒 3 名（主将、副将、三将）による団体戦

競技方法：(1) すべての対局を先番 6 目半コミ出しで行います。対局時計を使用し、持ち時間は各 35 分、使い切ると 1 手 10 秒の秒読みとします。

(2) 主将が「ニギリ」により先番を決め、副将、三将の順に先後を入れ替えて対局します。

(3) 2 勝した学校を勝ちとします。

表 彰：男女とも優勝、準優勝の学校を表彰します。

審 判 長：坂口 隆三 九段

そ の 他：本大会は 12 月 21 日(日)に神戸市で行われる第 14 回近畿高校囲碁選手権大会(団体戦)の京都府代表決定戦を兼ねます。